



## よしん 余震ってなあに

### ほんしん あと お 起こる じしん 本震の後に起こる地震

地震のとき、<sup>さいしょ</sup>最初に起こった地震の中で、いちばん大きい地震のことを、<sup>ほんしん</sup>本震といいます。  
本震の後に、<sup>つづ</sup>続いて起こる地震のことを、<sup>よしん</sup>余震といいます。

地震の起こる場所（<sup>しんげん</sup>震源）が、<sup>ふか</sup>深い所よりも<sup>あさ</sup>浅い所のほうが、<sup>ほんしん</sup>本震の後に、<sup>お</sup>たくさんの余震が起こります。

余震の中で、わりあい大きな地震が起こると、その地震の後に、また、<sup>よしん</sup>余震が起こり、<sup>よしん</sup>余震に余震が重なって、<sup>お</sup>起こることがあります。

### よしん ちゅうい ひつよう 余震には注意が必要

たくさん起こる余震の中には、<sup>ほんしん</sup>本震と同じぐらいの大きさの、<sup>よしん</sup>余震もあるので、もう地震はこない、と<sup>あんしん</sup>安心しているときに、<sup>おも</sup>思わず大きな地震がきて、びっくりすることがあります。

余震は、<sup>ほんしん</sup>本震が起こった後から、<sup>すう</sup>数か月も<sup>つづ</sup>続くことがあります。が、<sup>じかん</sup>時間がたつにつれてだんだん、<sup>すく</sup>少なくなっていきます。

<sup>ほんしん</sup>本震でこわれかかった<sup>たても</sup>建物や、<sup>ところ</sup>がけくずれなどがある所は、<sup>よしん</sup>余震によって、<sup>おお</sup>大きな被害になることもあるので、<sup>さいしん</sup>細心の<sup>ちゅうい</sup>注意が必要です。（監修・国司 真）

